

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名( 株式会社日広 )

# SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30変更】

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (異などの取得証拠があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに記入)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目													
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
人権・労働	【差別的禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			雇用、昇格昇進、福利厚生などあらゆる雇用条件に関して、差別しない体制を構築し代表が積極的に関与。					5.1 5.2 5.5		8.5 8.7 8.8	10.2 10.3						
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			年二回の上司及び役員の個人面談機会にインタビューをし、対応していく。					5.1 5.2 5.5		8.5 8.8							
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			業務の効率化、設備投資による生産性向上を図るとともに、社員全員の時間外労働の毎月の管理を行い、長時間労働の是正を行っている。							8.5 8.8							
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			現時点で外国人労働者はおらず、また採用する計画はもっていないが、必要な際には労働環境の整備をおこなっていく。			4.4				8.7 8.8	10.2 10.3						
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			随時労働環境の整備に取り組むと共に実際に労災が発生しないように注意喚起し事前に芽を摘んでいる。			3				8							
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			定期的上司との面談を行い、各自の抱えている問題を相談できる機会を設けている。			3											
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			多様な人材活用に取り組んでいる。特に経験豊富な高齢者を積極的に雇用。女性が働きやすい環境にも随時着手。					5.1 5.5		8.5	10.2 10.3						
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			不定期ではあるが勉強会を開催している。また、必要に応じて外部のセミナーに参加させている。社内でのキャリアアップの取組みも実施している。			4	5.5			8	9						
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			パートタイム労働法、労働契約法等の改正内容を理解し同一労働、同一賃金等の原則に沿った体制の整備をすすめている。				5.5			8.5	10.2 10.3						
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			人間ドックの補助及び定期健診を実施している。従業員の感染症予防の取組みとしてインフルエンザ予防接種を会社負担で実施している。			3				8							
環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			廃棄物の種類・量など現状を把握し、ペーパーレス化など廃棄物削減に取り組んでいる。										11.6	12.4		14.1	
	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			待機電力の削減他省エネに積極的に取り組んでいる。						7.3							13	
	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			休憩時間中には不要な照明を消している。また、営業活動において、エコ運転を心がけている。							7.2 7.3				12.4		13.3	
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	【非該当】		弊社の事業では有害化学物質を取り扱っていない。			3.9			6.3				11.6	12.4			





上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
企業価値向上のための「SDGsによる広告コミュニケーション」	SDGsに取組むことで、ブランディング向上をサポート														
産学官連携の拡大	地域の知財を活かし、地域の問題解決につながる企画提案をしてプロジェクトに積極的に参加する														
地域貢献の拡大	地域におけるコミュニティとして様々な地域貢献活動を拡大していく														

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）

・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス：州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

○ この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成

○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載

○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載

※1…組織の社会的責任に関する国際規格      ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定